

逗子市総合計画

進行管理表

第3節

柱	第3節 自然と人間を共に大切にすま
---	-------------------

めざすべきまの姿	逗子を取り巻く自然は、海や、市街地の三方を囲む丘陵のみどりなどが良好な状態で残されています。この豊かな自然は、市民の暮らしに潤いを与えてくれます。 わたしたちは、これからも、常に自然を守り、育み、地球に優しい持続可能な潤いのあるまをつくり、自然と人間を共に大切にすまの実現をめざして、この恵み豊かな環境を、次の世代へとつないでいきます。
----------	--

目標	自然と人間を共に大切にすまをめざす市の取り組みに満足している人の割合が10ポイント増加している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	72.5%	(74.2%)	(75.9%)	(77.6%)	(79.3%)	(80.9%)	(82.5%)	82.5%

進捗状況評価
—

取り組みの方向	1 自然を大切にすま
---------	------------

首都圏に残された貴重な財産である自然を保全し、次世代に引き継ぐことは、健康で快適な生活環境を確保していくうえで重要・不可欠であり、わたしたちの責務です。 また、市街地においても、逗子の地域特性を最大限に発揮できるよう、潤いや安らぎのある環境を創造するとともに、緑地の保全や住宅地の緑化を進めていきます。 わたしたちは、逗子の山、川、海、そしてまちなかの名所を回廊としてつなぎ、市民が様々な生き物等と接する中で、学び、安らぎ、遊び、憩うことができる環境づくりを進め、自然と人の共生するまちづくりを進めていきます。
--

具体的施策	① 自然の回廊の保全と活用
-------	---------------

KPI	自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
年1件程度	0							複数回

進捗状況評価
C：順調であるとみなせない

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・市民との協働による新たな活用イベントの実施には至らなかったが、福祉関連イベントでの活用に向けて調整した。 ・市民との協働によるイベントのほか、観光関連イベントとして、市観光協会「逗子旅＋プロジェクト関連ウォーキング」を2回、JR東日本主催「駅からハイキング」を1回、計3回の自然の回廊を活用したイベントの開催に協力した。								
今後の対応								
・観光関連に加え、教育、文化、スポーツ、福祉関連の市民団体等が実施するウォーキングイベント等での活用を働きかけて支援する。								

主 な 取 り 組 み

取り組み①	自然の回廊プロジェクト事業の推進			総合戦略	2-2-②-2 4-1-②-4
説明	・「自然の回廊プロジェクト」として、自然と人が調和し、回遊性と活力のあるまちづくりを図るため、「自然の回廊プロジェクト」を推進する市民団体の活動を支援する。 ・魅力の発信を図るため、自然の回廊の案内板の維持管理及びリーフレット等を配布する。 ・各回廊の自然を生かした工夫に取り組む。				
2023年度 実施内容	案内マップの配布や案内板の維持管理等での周知活動に加え、自然の回廊プロジェクトメンバーと協働で展示用回廊マップを作成、体験学習施設スマイルでの常設展示を開始した。				
【参考】 予算事業名	観光客誘致事業	【参考】 実績額	616,792円	担当課	経済観光課
【参考】 予算事業名	逗子市観光協会助成事業	【参考】 実績額	28,931,000円	担当課	経済観光課
取り組み②	みどりに親しむ環境づくりの推進			総合戦略	－
説明	・みどりの美しい山にもっと親しめる環境づくりとして、ハイキングコースの維持管理を行う。				
2023年度 実施内容	ハイキングコース維持管理業務委託 1,209,067円				
【参考】 予算事業名	ハイキングコース維持管理事業	【参考】 実績額	1,209,067円	担当課	緑政課

具体的施策		② みどりの保全と緑化の推進						
KPI	公園への花苗の植栽が、年2,500個以上となっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
2,088個	2,304個							2,500個以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・ 前年度に引き続きみどり基金を活用している。 ・ ホームページに加え広報ずし4月号に掲載し周知を図った結果、反響が大きかった。								
今後の対応								
・ 引き続き効果的な方法により周知を図り、実績数の増加を目指す。 ・ 今後は事後調査にも積極的に取り組んでいきたい。								

主な取り組み

取り組み①	緑化に係る事業の推進	総合戦略	4-1-②-6
説明	・生垣やシンボルツリーの苗木を配布することで、市街地のみどりを増やし、みどり豊かでうるおいのある住環境を創出する。 ・市民が利用しやすい市街地の緑化推進事業へと見直しを進める。 ・市民の参加などによる自然植生をめざした森の再生や里山の活用、維持管理を推進する。		
2023年度 実施内容	シンボルツリー4件、生垣2件の配付を行い、シンボルツリーの苗木配布数累計は76件となった。		
【参考】予算事業名	緑化推進事業	【参考】実績額	143,440円 担当課 緑政課
取り組み②	公園への花苗の植栽（各種アダプトプログラムの推進）	総合戦略	4-2-①-6
説明	・アダプトや自治会の協力により、公園に花苗の植栽をする。		
2023年度 実施内容	花苗配布箇所は16箇所であり、春期、秋期ともに1,152株（合計2,304株）を配布した。		
【参考】予算事業名	苗木等配布事業	【参考】実績額	320,909円 担当課 緑政課
取り組み③	緑地の適正な維持管理	総合戦略	—
説明	・市有緑地の適正な管理を行うため、伐採等を行う。		
2023年度 実施内容	緑地賠償責任保険料980,900円、緑地伐採等業務委託（50件）12,295,371円、市民の森（久木6丁目）借地料1,550,521円		
【参考】予算事業名	緑地維持管理事業	【参考】実績額	14,826,792円 担当課 緑政課
取り組み④	緑地の安全対策	総合戦略	—
説明	・市有緑地の崩落を防ぎ市民の安全を確保するため、伐採及び法面防護工事を行う。		
2023年度 実施内容	緑地管理伐採業務委託（14箇所）21,024,300円、池子3丁目地内既設法面保護施設復旧工詳細設計業務委託14,190,000円、緑地法面防護工事等（沼間3丁目など）123,384,448円		
【参考】予算事業名	緑地安全対策事業	【参考】実績額	158,598,748円 担当課 緑政課

取り組み⑤	里山の環境の保全活用（各種アダプトプログラムの推進）	総合戦略	4-2-①-6
説明	・名越緑地を再生し、維持管理や利活用を行うため、里山の環境保全及び学習活動に関するアダプトプログラムを実施する。		
2023年度 実施内容	昆虫観察会（計2回）のため講師謝礼金30,000円 里山維持管理のための消耗品（種、苗、土のう等）購入費149,770円		
【参考】予算事業名	里山活用事業	【参考】実績額	198,202円 担当課 緑政課
取り組み⑥	地域制緑地の活用（特別緑地保全地区指定事業の推進）	総合戦略	4-1-②-2
説明	・特別緑地保全地区の指定を始め、樹林地の特性に応じた保全を図る。		
2023年度 実施内容	事業休止中		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	— 担当課 緑政課
取り組み⑦	歴史的風土特別保存地区の保全	総合戦略	—
説明	・歴史的風土特別保存地区の指定区域は鎌倉市にまたがるため、神奈川県及び鎌倉市と指定に向けた調整を進める。		
2023年度 実施内容	事務的対応のみ		
【参考】予算事業名	歴史的風土保存事業	【参考】実績額	0円 担当課 緑政課
取り組み⑧	丘陵地の保全	総合戦略	—
説明	・逗子市の良好な都市環境をつくる条例の運用により、開発行為や木竹の伐採について環境影響評価*を実施することで自然環境の保全を図る。		
2023年度 実施内容	環境評価審査委員会 2回開催 公開型GISに自然環境評価図等を搭載		
【参考】予算事業名	自然環境評価事業	【参考】実績額	6,235,750円 担当課 まちづくり景観課
取り組み⑨	環境教育等の推進	総合戦略	—
説明	・市民団体との協働や市内学校、幼稚園、保育園等の関係機関との連携を深め、動植物とふれあう地域教育を推進する。 ・環境教育における施策を学校現場との連携を密にして取り組む。		
2023年度 実施内容	・ずしグリーンライフフェス（6/10・6/11）を開催した。 ・ずしし環境会議により、観察会及び出前事業を実施した。		
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	16,772,183円 担当課 環境都市課

具体的施策	③ 公園の活用及び維持管理							
KPI	「現在の逗子のイメージ」について、「気軽に行ける公園や広場が整備されている」と回答する人の割合が、過去5年の平均で25%以上になっている。							
2017～2021平均	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
22.96%	21.30%							25%以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
・逗子市公園施設長寿命化計画により遊具等の計画的な修繕を実施している。 ・上記公園施設長寿命化計画の更新ができていない。								
今後の対応								
逗子市公園施設長寿命化計画を更新し、同計画をベースとして公園ストック再編計画を策定することで、計画的な公園施設の更新や市民ニーズに対応した公園整備を図る。								

主な取り組み

取り組み①	池子の森自然公園の維持管理				総合戦略	－
説明	・豊かな自然を次世代につなぐため、生物多様性に配慮した自然環境保全に努め、公園の維持管理を適切に行う。 ・池子住宅地区の一部約40haの共同使用を受けて、池子の森自然公園の自然環境の保全と活用を図る。					
2023年度 実施内容	緑地エリア管理運營業務委託3,251,928円、テニスコート維持管理工事17,820,000円					
【参考】予算事業名	池子の森自然公園維持管理事業		【参考】実績額	22,392,507円	担当課	緑政課
取り組み②	公園の維持管理（第一運動公園、披露山公園、蘆花記念公園、近隣公園、街区公園）				総合戦略	－
説明	・必要に応じて再編について検討し、多角的な活用方策を検討する。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公園の維持管理を適切に行う。 ・多様化する市民ニーズに対応し、誰もが使いやすい公園となるようユニバーサルデザインの導入を図る。					
2023年度 実施内容	市民一人当たりの都市公園面積は16.18㎡となった。（令和5年度末）					
【参考】予算事業名	第一運動公園維持管理事業		【参考】実績額	27,415,285円	担当課	緑政課
【参考】予算事業名	披露山公園維持管理事業		【参考】実績額	18,683,722円	担当課	緑政課
【参考】予算事業名	蘆花記念公園維持管理事業		【参考】実績額	5,885,254円	担当課	緑政課
【参考】予算事業名	近隣公園維持管理事業		【参考】実績額	12,425,626円	担当課	緑政課
【参考】予算事業名	街区公園維持管理事業		【参考】実績額	37,316,871円	担当課	緑政課
取り組み③	公園の保全と活用（各種アダプトプログラムの推進）				総合戦略	4-2-①-6
説明	・市民が里親となって公園を管理するアダプトプログラムを実施し、協働によるまちづくりを推進する。					
2023年度 実施内容	各アダプト団体の維持管理活動（清掃、草刈り等）にかかる消耗品費 266,150円 公園アダプトは85箇所中55箇所（64.7%）で実施中。（前年度と比べ5箇所増）					
【参考】予算事業名	公園アダプト推進事業		【参考】実績額	266,150円	担当課	緑政課

取り組み④	国営公園の整備推進	総合戦略	4-2-①-6
説明	・三浦半島国営公園設置に向けて「三浦半島国営公園設置促進期成同盟会」として、県や近隣市町と連携した国営公園整備の促進を国・県に働きかけていく。		
2023年度 実施内容	三浦半島国営公園設置促進期成同盟会幹事会（対面）及び総会（書面開催）に出席し、三浦半島国営公園設置促進に係る討議に参加した。		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—
		担当課	緑政課
取り組み⑤	公園の整備	総合戦略	1-1-③-4 4-1-②-7
説明	・市内の公園について、必要に応じて整備を行う。		
2023年度 実施内容	新設及び大規模改修等はなし。		
【参考】予算事業名	—	【参考】実績額	—
		担当課	緑政課

具体的施策	④ 河川環境の保全							
KPI	アダプトプログラムにより市民が活動している河川管理の箇所数 6箇所、親水施設整備 4箇所							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
河川管理の箇所数：5箇所 親水施設整備：3箇所	河川管理の箇所数：5箇所 親水施設整備：3箇所							河川管理の箇所数：6箇所 親水施設整備：4箇所
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
親水施設の設置については神奈川県の実業であるため、神奈川県とは密に連絡を取り合い、状況を確認している。								
今後の対応								
今年度、下田橋では親水施設の左岸側の護岸の工事を予定しており、完了次第、親水施設としての利用をお願いしている。								

主な取り組み

取り組み①	河川アダプト制度の活用（各種アダプトプログラムの推進）				総合戦略	4-2-①-6
説明	・水辺の環境を保全していくため、アダプト制度や市民、事業者との協働による清掃等を通じて、良好な水辺を継承していく。					
2023年度 実施内容	令和5年度の田越川一斉清掃は雨天のため中止となった。 アダプト制度を活用した団体の清掃は継続して行っている。					
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	25,143,070円	担当課	都市整備課	

取り組み②	河川環境保全に留意した維持管理の推進				総合戦略	－
説明	・水辺景観や生き物の生息場所に配慮した河川の維持管理を行う。 ・「自然の回廊」の一つとして、水辺環境の創生（河川管理通路を遊歩道として利活用）を図る。					
2023年度 実施内容	河川の草刈等の維持管理を行った。					
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	25,143,070円	担当課	都市整備課	

取り組み③	河川環境保全に留意した改修工事の推進				総合戦略	－
説明	・親水性を向上させるような仕様など、快適性（アメニティ）と調和に配慮した河川改修を行う。					
2023年度 実施内容	河川改修については未実施。					
【参考】予算事業名	河川維持管理事業	【参考】実績額	-	担当課	都市整備課	

具体的施策	⑤ 良好で持続可能な逗子海岸の推進							
KPI	国際環境認証であるブルーフラッグを継続して取得している。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
取得申請中	継続取得							継続取得
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2 年連続で国際環境認証ブルーフラッグを取得、小学校での出張授業などの環境教育プログラムを協働で実施するなど、周知啓発活動を中心に取り組んだ。								
今後の対応								
・ 良好で持続可能な逗子海岸を将来へつないでいくための旗印として、ブルーフラッグの認証を継続取得するとともに、市内学校と連携した教育プログラムを推進するなど、周知啓発活動に取り組み、環境に配慮した活動の輪を広げていく。								
・ 海岸への排水対策として、海の家排水設備の整備促進に向けて調査研究を進め、手法や財源確保の検討を行う。☒								

主な取り組み

取り組み①	良好な逗子海岸、海水浴場の環境の推進 （逗子海岸保全活用事業の推進） （海洋プラスチックごみ対策の推進）			総合戦略	2-2-②-1 3-2-③-1 4-1-②-3 4-1-④-4
説明	・持続可能で良質な逗子海岸を維持するため、国際環境認証であるブルーフラッグの取得を継続し、市民向けに環境教育のイベント、講座等を実施する。 ・海洋プラスチックごみがもたらす環境への影響、プラスチック製品の使用の注意事項や使い捨て製品の使用を控える行動を促す等の周知活動を行う。 ・海岸への排水・廃棄の禁止、海の家排水設備の整備促進など海を汚さない取り組みを行う。 ・養浜対策について県に要請する。 ・関係機関を通じ、国に対して養浜対策の技術的支援を要請する。				
2023年度実施内容	・逗子海岸営業協同組合と協働で、2年連続で国際環境認証ブルーフラッグを取得した。 ・逗子小学校での出張授業などの環境教育プログラムを協働で実施し、13企画に約1,000人が参加した。 ・海を家の海洋プラスチックごみ対策を負担金により支援し、小学生向けの周知啓発物を作成した。 ・海岸への排水対策に向けて、調査研究を行なった。 ・養浜対策について、国及び県へ要望活動を行うことに加え、調査研究に向けた調整を行なった。☑				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	31,786,361円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海岸美化推進事業	【参考】実績額	9,313,455円	担当課	経済観光課
取り組み②	逗子海岸美化活動の推進（各種アダプトプログラムの推進）			総合戦略	4-2-①-6
説明	・海岸利用者にごみ等の散乱防止を啓発するとともに、協力を得て美化活動の実施に努める。 ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を実施する。				
2023年度実施内容	・かながわ海岸美化財団による海岸清掃を103日実施した。（負担金及び一部委託） ・アダプトプログラムによる海岸一斉清掃を11回実施し、約770人が参加した。☑				
【参考】予算事業名	海水浴場運営事業	【参考】実績額	31,786,361円	担当課	経済観光課
【参考】予算事業名	海岸美化推進事業	【参考】実績額	9,313,455円	担当課	経済観光課

取り組みの方向	2 廃棄物による環境負荷の少ないまち
ごみの排出は環境に大きな負荷をかけます。良好な環境を保全し、次世代につないでいくためには、できる限り「燃やさない、埋め立てない」という持続可能な循環型社会をめざす必要があります。 わたしたちは、自主的にごみの発生・排出抑制に取り組むとともに、廃棄物を貴重な資源として一層有効活用し、環境保全と安全・安心に配慮したごみ処理の推進に努めます。 わたしたちは、廃棄物による環境への負荷をできる限り低減し、「ゼロ・ウェイスト社会」の実現をめざします。	

具体的施策	① ごみの発生量・排出量の削減
-------	-----------------

KPI	市民1人当たりのごみ排出量が1日当たり797g以下になっている。							
2021.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
851g/人・日	(2022年度数値) 812g/人・日							797g以下

進捗状況評価	
A：順調である	
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）	
逗子市一般廃棄物処理基本計画（2021年３月）に、目標年度を2030年度とした、一人１日当たりのごみ排出量の目標値を記載しているため、同計画との整合を図り目標を設定した。	
今後の対応	
ごみの発生・排出抑制と資源物の分別徹底の促進、排出量に応じた負担の公平化及び市民意識の啓発を促進していく。	

主な取り組み

取り組み①	ごみの発生・排出抑制の意識啓発の推進				総合戦略	－
説明	・家庭ごみ処理有料化による減量効果を最大化するため、有料化の意義と趣旨、目的の十分な周知啓発を行う。					
2023年度実施内容	広報ずし、市ホームページ、生ごみ分別収集・資源化についての市民説明会において、ごみ発生・排出の抑制について周知・説明を行った。					
【参考】予算事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事業	【参考】実績額	47,061,220円	担当課	資源循環課	
取り組み②	ごみ処理手数料の適正化				総合戦略	－
説明	・ごみ処理原価と近隣市町の状況を踏まえたごみ処理手数料の適正化を図る。					
2023年度実施内容	事業系ごみ処理手数料について処理原価と乖離がみられること、また、近隣市の状況を踏まえ、適切な金額を設定すべく手数料改定に向けて、逗子市廃棄物減量等推進審議会へ諮問し、答申を受けた。					
【参考】予算事業名	じんかい処理手数料（歳入）	【参考】実績額	73,620,750円	担当課	資源循環課	

取り組み③	生活環境の保全	総合戦略	－
説明	・不法投棄、ポイ捨て及び不適正排出の防止と生活環境保全のため、啓発活動、パトロール及び散乱ごみ回収等を実施する。		
2023年度 実施内容	散乱ごみ収集運搬業務委託、県市合同の不法投棄パトロール、不法投棄禁止看板の設置等を行った。		
【参考】予算事業名	環境づくり・美化推進事業	【参考】実績額	1,537,745円
		担当課	資源循環課

具体的施策	② 生ごみの減量化・資源化の推進						総合戦略	4－1－④－1
KPI	家庭用生ごみ処理容器等の助成件数が延べ9,010件以上になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
7,763件	8,103件							9,010件以上
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
「生ごみ処理容器等購入費助成事業」について、2023年度から「電動式」生ごみ処理容機も助成対象としたことにより、助成助成件数が大きく増加した。								
今後の対応								
引き続き、チラシやホームページ、広報ずし等により当該助成制度の周知を図り、生ごみ減量化施策を進める。								

主な取り組み

取り組み①	家庭用生ごみ処理容器等の普及促進					総合戦略	—
説明	・市民団体や事業者と連携して、家庭用生ごみ処理容器等による生ごみの自家処理の普及拡大・継続使用を推進する。						
2023年度 実施内容	家庭用生ごみ処理容器等の助成制度について、市ホームページ、広報ずしによる周知、生ごみ分別収集・資源化についての市民説明会でチラシの配布を行い、普及促進を図った。						
【参考】予算事業名	生ごみ処理容器等購入費助成事業		【参考】実績額	6,253,560円	担当課	資源循環課	
取り組み②	生ごみの分別収集・資源化					総合戦略	—
説明	・家庭から排出される生ごみを分別収集し、葉山町が整備する生ごみ資源化処理施設で資源化を図る。						
2023年度 実施内容	地方自治法に基づく事務委託を葉山町に行うため、市議会にて事務委託議案を提案し可決された。また、生ごみ分別収集・資源化に関する冊子を作成し、全戸配布して周知を図るとともに市民説明会を行った。						
【参考】予算事業名	—		【参考】実績額	—	担当課	資源循環課	

具体的施策	③ 安心・安全で持続可能な廃棄物処理システムの構築
-------	---------------------------

KPI	環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行い、年間20,000tの焼却処理を行っている。							
2021.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
葉山町可燃ごみ全量を受入れ共同処理を実施	葉山町可燃ごみ全量を受入れ共同処理を実施							年間20,000tの焼却処理を行っている。

進捗状況評価
A：順調である

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画において、ごみ処理施設の整備方針を整理しており、第2期（2025年度～2029年度）は、逗子市の焼却施設に、葉山町の可燃ごみ及び鎌倉市の可燃ごみの一部を、年間20,000トンの範囲で集約し、焼却する計画である。
今後の対応
環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画に基づき、施設保全の適正な実施・運用により、施設の機能低下を抑制し、施設の延命を図っていく。

主な取り組み

取り組み①	環境クリーンセンター焼却施設長寿命化計画の策定	総合戦略	－
説明	・環境クリーンセンター焼却施設について、中長期的なごみ量とごみ質の変化等を踏まえた長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を図る。		
2023年度実施内容	焼却施設の定期補修工事を実施したほか、設備機器の劣化状況に基づいた計画的な整備（補修、交換等）を行った。		
【参考】予算事業名	－	【参考】実績額	－
		担当課	資源循環課
取り組み②	民間委託の計画的な推進	総合戦略	－
説明	・収集・運搬、中間処理、最終処分の各段階における直営と民間委託の役割分担のあり方を整理し、民間委託の計画的な推進を図る。		
2023年度実施内容	一般廃棄物収集・運搬業務委託、焼却灰の資源化業務委託等について、役割分担を明確にし、計画的に推進した。		
【参考】予算事業名	－	【参考】実績額	－
		担当課	資源循環課

具体的施策	④ 紙ごみの減量化・資源化の推進
-------	------------------

KPI	燃やすごみに含まれる紙ごみが36.7%以下になっている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
37.3%	31.1%							36.7%以下

進捗状況評価
B：概ね順調であるとみなせる

補足説明（反省点・問題点、工夫している点）
2025年3月から、生ごみの分別収集・資源化が開始するため、現在、燃やすごみに含まれている生ごみを分別収集することで燃やすごみの全体量が減量するため、燃やすごみに含まれる紙ごみの割合が自ずと大きくなる。このことから、燃やすごみに含まれる資源化可能な紙類の混入3割減を指標とし、生ごみ分別収集実施後の組成として計算した。
今後の対応
紙ごみについて、更なる減量化・資源化が促進されるよう周知啓発を進める。

主な取り組み

取り組み①	紙ごみの減量化・資源化の推進	総合戦略	－
説明	- 紙ごみの分別排出が徹底され、減量化・資源化が促進されるよう周知啓発を進める。 - 資源回収奨励金制度の合理化・活性化を図る。		
2023年度 実施内容	廃棄物減量等推進員に対して、紙ごみの分別排出や紙ごみの資源化・減量化に関する「紙リサイクル研修会」を開催した。		
【参考】予算事業名	資源再利用推進事業	【参考】実績額	36,536,990円
		担当課	資源循環課

具体的施策	⑤ 資源化品目の拡大							
KPI	資源化率が61.4%以上になっている。 最終処分率が0.3%以下を維持している。							
2021.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
資源化率：48.1% 最終処分率：0.3%	(2022年度数値) 資源化率：45.9% 最終処分率：0.4%							資源化率：61.4%以上 最終処分率：0.3%以下
進捗状況評価								
B：概ね順調であるとみなせる								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
逗子市一般廃棄物処理基本計画（2021年3月）に、目標年度を2030年度とした資源化に関する目標及び最終処分に関する目標値を記載しているため、同計画との整合を図り目標を設定した。								
・製品プラスチックの再商品化について、他自治体との調整のほか、施設改修あるいは更新、民間事業者への委託も含め、手法を検討していく。紙おむつについても、新たな資源化について、国や他自治体の動向等を見据え検討していく。								

主な取り組み

取り組み①	資源化効率の向上					総合戦略	—
説明	・焼却灰の安定的な資源化処理の確立を図る。 ・最終処分する不燃残さを最小化するための資源化品目の拡大と資源化効率の向上を図る。 ・燃やすごみの約15%を占める植木剪定枝について、環境クリーンセンターでの処理、粉碎車両の活用及び民間処理委託により、焼却処理をせずに全量資源化を図る。 ・製品プラスチック、紙おむつ等、新たな資源化品目の追加について、国の動向等を見据え継続して検討する。						
2023年度 実施内容	製品プラスチック、紙おむつ等の新たな資源化品目の追加について、他自治体や国の動向等を見据え、民間への業務委託について継続して検討した。						
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課 資源循環課
取り組み②	ごみと資源物の分別方法の意識啓発の推進					総合戦略	—
説明	・市民、事業者との協働により、正しい分別の仕方、資源物の出し方の啓発を図る。 ・地域の拠点での資源物の回収の促進を図っていく。						
2023年度 実施内容	逗子市廃棄物減量等推進員や自治会・町内会に対し、ごみと資源物の分別方法、出し方について、周知啓発を図った。資源回収用ネット容器を希望団体の地域に100箇所以上に設置し、資源物の回収促進を図った。						
【参考】予算事業名	—				【参考】実績額	—	担当課 資源循環課

具体的施策		⑥ ごみ処理の広域連携の推進						
KPI	鎌倉市の可燃ごみの一部を受入れ広域処理を行っている。 葉山町の生ごみ資源化処理施設での生ごみ資源化共同処理を行っている。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
未実施	未実施							広域処理及び共同 処理を行っている
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画のスケジュールのとおり進めることとしている。								
今後の対応								
2市1町で広域連携に係る協議を進め、2025年3月から葉山町の生ごみ資源化処理施設での生ごみ資源化共同処理を開始し、2025年度から、鎌倉市の可燃ごみの一部を逗子市が受け入れ、共同処理を開始する。								

主な取り組み

取り組み①	ごみ処理の広域連携の推進	総合戦略	－
説明	・ 平常時の共同処理、緊急時の相互支援及び災害時の広域処理の各場面における合理的かつ効率的な自治体間連携の関係構築に取り組む。 ・ 食品リサイクル法に基づく登録再生事業者の活用、食品廃棄物の発生抑制・排出抑制、手数料の見直し等を鎌倉市、逗子市及び葉山町で連携して推進する。		
2023年度実施内容	2市1町で広域連携に係る協議を行った。葉山町との生ごみ共同処理に係る事務委託議案の議決が第3回定例会で可決され、生ごみ分別収集・資源化に関する冊子を作成し、全戸配布して周知を図るとともに市民説明会を開始した。		
【参考】予算事業名	家庭系ごみ排出抑制推進事業	【参考】実績額	47,061,220円
		担当課	資源循環課

取り組みの方向	3 カーボンニュートラルを実現するまち
地球温暖化の問題は、地球規模で取り組む課題です。 その原因の一つである二酸化炭素を主なものとする温室効果ガスは、日常生活においても発生しています。わたしたち一人ひとりのライフスタイルを見直し、身近なことから温室効果ガス排出量の削減を実践していきます。 また、温室効果ガスの発生量の多い化石燃料から、地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギーへの転換に努めます。 わたしたちは、持続可能な社会を実現するため、2050年温室効果ガス排出実質ゼロのまちづくりを進めます。	

具体的施策	① 2050年カーボンニュートラル実現の推進						総合戦略	4－1－④－3
KPI	市内の電力を使用するすべての市所有（管理）施設において、再生可能エネルギー100%の電気を導入する。							
2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
12施設	16施設 (73.5%)							全施設
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
2050 年カーボンニュートラル実現をめざし、2021 年（令和 3 年）3 月に策定した「公共施設の電力調達の方針」において、2030 年度（令和 12 年度）までに、原則として市内の電力を使用するすべての市所有（管理）施設において、再生可能エネルギー100%の電気を調達することを目標としている。								
今後の対応								
各施設において、電力の契約（見直し）時に、可能な限り再生可能エネルギー電気を調達する。なお、指定管理者により管理されている施設についても同様とする。								

主な取り組み

取り組み①	環境に配慮したライフスタイルへの移行促進	総合戦略	－
説明	・「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」宣言を踏まえて、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定し、その目標値達成に向けた事業を推進する。 ・市民、事業者との協働により、環境に配慮したライフスタイルに移行するきっかけとなる施策を展開し、温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを促進するための意識啓発を実施する。		
2023年度 実施内容	・逗子市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の期間満了に伴い、逗子市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）と逗子市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を一元化させた実行計画とする改定を行った。 ・ずしグリーンライフフェス（6/10・6/11）を開催した。 ・かんきょう講演会（2/10）を開催した。		
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	16,772,183円
		担当課	環境都市課
取り組み②	民生部門の再エネ・省エネ・蓄エネの推進	総合戦略	－
説明	・市民、事業者による再生可能エネルギーの利用及び省エネ・蓄エネ設備等の導入に向けた意識啓発や支援に取り組む。		
2023年度 実施内容	・カーボンニュートラル推進補助金を交付（交付額：6,137,000円）		
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	16,772,183円
		担当課	環境都市課

取り組み③	公共施設における再エネ・省エネ・蓄エネの推進			総合戦略	－
説明	・公共施設における再生可能エネルギーの利用及び省エネ・蓄エネ設備の導入等による温室効果ガス排出量削減に向けた具体的な取り組みを検討し、実施する。				
2023年度 実施内容	・再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査を実施し、逗子小学校における太陽光発電設備導入の方向性について検討した。				
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	16,772,183円	担当課	環境都市課
取り組み④	移動の脱炭素化の推進			総合戦略	－
説明	・低公害車への乗り換えの啓発・推進など、自動車による環境負荷を少なくするための取り組みを行う。 ・第4節 3 歩行者と自転車を優先するまちの取り組みと連携し、公共交通の利用を促進する。				
2023年度 実施内容	・公用車の車検満了に伴う電気自動車への切り替えについて検討した。				
【参考】予算事業名	カーボンニュートラル推進事業	【参考】実績額	16,772,183円	担当課	環境都市課

取り組みの方向	4 暮らしと景観に配慮したまち
きれいな水と空気に恵まれた良好な生活環境を維持し、より一層人に優しい都市環境を整備することは重要な課題です。 また、みどり豊かな低層の家並みと路地がめぐる美しいまち並みは、市民共有の財産です。 良好なまち並みと、そこに住む人々の暮らしで形成される「景観」をまちづくりの重要な要素として位置付け、自然景観及び人工景観の向上をめざしていきます。 わたしたちは、良好な生活空間、景観を次世代に引き継いでいくため、暮らしと景観に配慮したまちづくりを進めていきます。	

具体的施策	① 景観まちづくりの推進						総合戦略	4－1－③－3
KPI	景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」を活用した啓発活動を年３回以上実施する。							
2022.3	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標
3回	5回							3回以上
進捗状況評価								
A：順調である								
補足説明（反省点・問題点、工夫している点）								
逗子葉山高校でまちなみデザインの授業の実施や、旧藤瀬脇村邸の一般公開に合わせた景観まちあるきを開催した。								
今後の対応								
引き続き、公共施設整備事前協議の依頼や市民を対象とした啓発活動を行う。								

主な取り組み

取り組み①	地域特性等に応じた景観形成	総合戦略	—
説明	・地域特性や立地条件に応じた施設整備が行われるよう、景観形成重点地区の追加指定を含め様々な手法を検討し、地域資源がより生かされる方策を実施する。 ・関係機関と協議し、景観に配慮した公共施設の整備を推進する。		
2023年度実施内容	・公共施設整備実施前の協議を関係所管に周知、協議を行った。 ・逗子市景観条例適用案件における進行管理票を作成し、地域特性や立地条例に応じた施設整備における基礎資料の整備を開始した。		
【参考】予算事業名	景観のまちづくり推進事業	【参考】実績額	529,310円
		担当課	まちづくり景観課
取り組み②	景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」の活用	総合戦略	2-2-①-5
説明	・「まちなみデザイン逗子」の普及啓発を図り、市民の自発的な景観づくりに活用してもらうよう誘導する。 ・地域ごとに景観を考える機会をつくり、「まちなみデザイン逗子」を使って自然と調和したまち並みや魅力ある路地など地域の特色を活かした景観を維持・創造していく。		
2023年度実施内容	高校での授業、まちあるきを実施		
【参考】予算事業名	景観のまちづくり推進事業	【参考】実績額	529,310円
		担当課	まちづくり景観課

取り組み③	生垣やシンボルツリーの苗木の配布	総合戦略	－
説明	・ 景観に配慮した緑化の取り組みを推進する。		
2023年度 実施内容	シンボルツリー 4 件、生垣 2 件の配付を行い、シンボルツリーの苗木配布数累計は76件となった。		
【参考】 予算事業名	緑化推進事業	【参考】 実績額	143,440円
		担当課	緑政課